



グリーンイノベーション基金事業 スマートモビリティ社会の構築

グリーンイノベーション基金

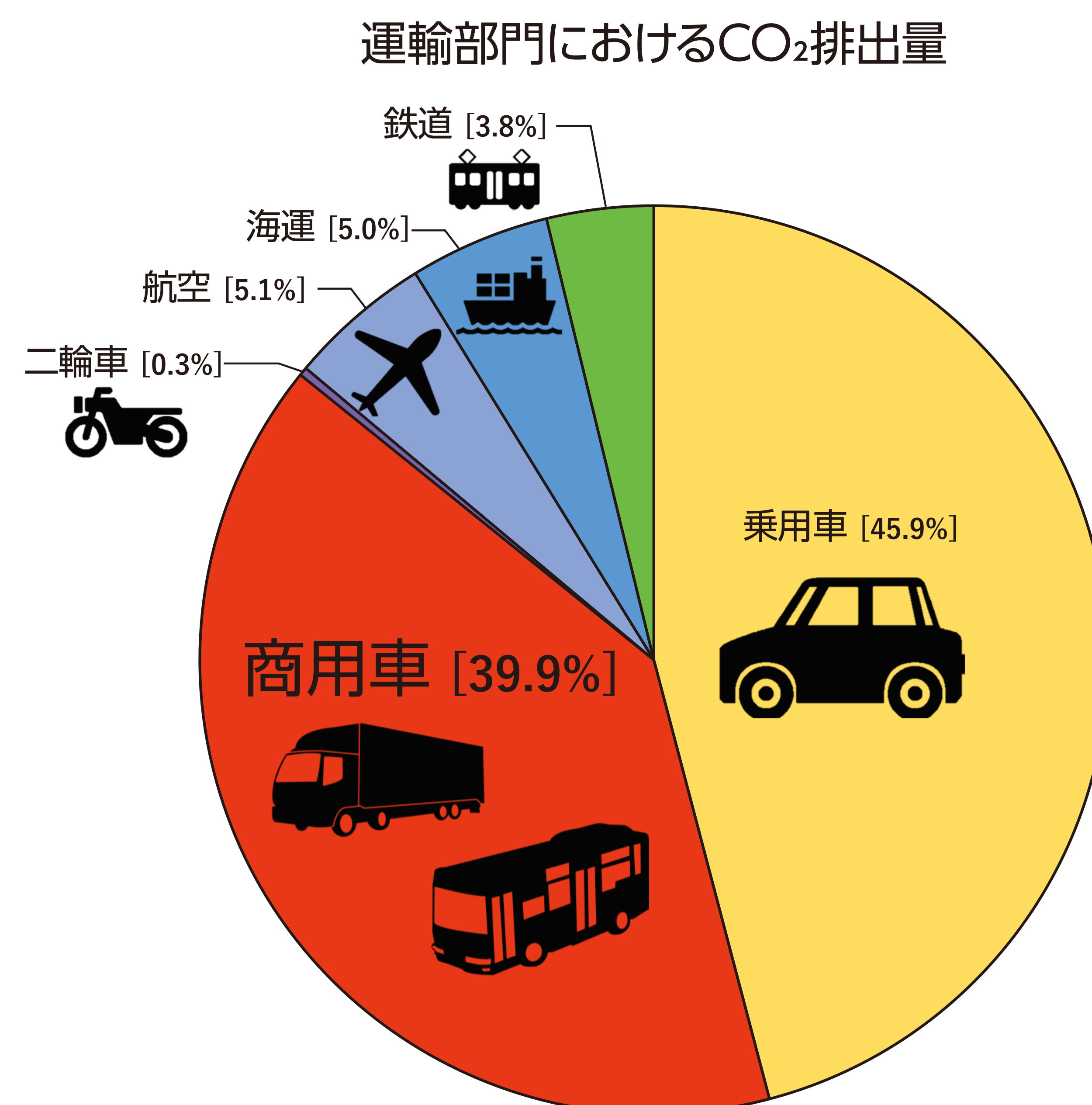
目的

2050年のカーボンニュートラル実現に向けた、グリーンイノベーション基金事業の1つに本プロジェクトがあります。

現在、日本の運輸部門によるCO₂排出量のうち約40%が旅客や貨物等を運ぶ商用車由来となっています。

そこで本プロジェクトは、商用分野への電動車^(※)の普及を促進し、エネルギー利用と運行管理が最適化されたスマートモビリティ社会の構築を目指します。

※本プロジェクトにおける電動車は、バッテリー式電気自動車 (EV) と燃料電池式電気自動車 (FCV) を指す。



事業概要

商用車は乗用車に比べ、エネルギー消費量が多く、電動化にはエネルギー補充の時間増加による運行効率の低下が大きな課題となります。また、商用電動車の普及には、電力の増加や充電タイミングの重複によるエネルギー供給インフラの負荷増大も懸念されます。その上、水素ステーションの設置には、充電設備より多くのコストがかかります。こうした課題を解決するためには、社会全体および個別事業者におけるエネルギー利用・運行管理・インフラ整備等を最適化し、なおかつ可能な限り整合するような事業活動を促すシステムが必要です。

そのため本プロジェクトでは、商用電動車の利用促進に向けて、運行管理と一体的なエネルギーマネジメントを行うシステムの研究開発を支援します。

- 商用利用されるEV・FCVの本格普及時における社会全体最適を目指したシミュレーションの研究開発
- 運輸事業者における商用電動車の個別の運行管理と一体的なエネルギーマネジメント等に関する研究開発



プロジェクト実施期間：2022年～2030年

NEDOプロジェクト名：グリーンイノベーション基金事業／スマートモビリティ社会の構築

GI基金ポータル

